


市民や事業者の緑のまちづくりを支援する他、地域の緑をつくり盛り上げ発信する等の役割を担う「みどりのコーディネーター」を発掘・育成する・・・そのための第一歩として、講座を開催しています。この「かわら版」では、第2回の様子をお届けします。

「樹木の診断と管理方法」 2022.11.9 (水) 18:30~20:00 講師 河邊 誠氏

第2回を迎えた本講座。今回は13名の方と樹木について学びました。
講師を務めていただいたのは樹木医の資格を持っている木のスペシャリスト、豊橋みどりの協会 河邊 誠氏。
豊橋市の樹木の診断や管理方法について普段緑化活動をされている参加者も知らない事もあり、熱心に話を聞いていました。

①はじめに

■前回の振り返り：「岩屋緑地に親しむ会」発表



まずはじめに、公園緑地課より前回の講座の内容について振り返ると同時に講座の目的について再度お話をしました。

「自然緑地に親しむ会」の両川緑地に活動内容等について報告を行いました。活動内容が多岐に渡り、地元の小学校・保育園などの体験学習も受け入れるなど活動場面に特長あり味を十分に感じました。会議ですが、ポルタンワークに開催される英文発表会にもブース出展しており、上記の両川緑地活動内容で子供から大人まで楽しめる内容です。

②講義（豊橋市の樹木の診断、管理方法について）




公益財団法人 豊橋みどりの協会

みどりを

育ててふやす（緑化）

守る（保全）

ひろめる（教育普及）

ゴマダラカミキリ

広葉樹の多く かんきつ類など

成虫は6~8月

根元への産卵多し → 風倒

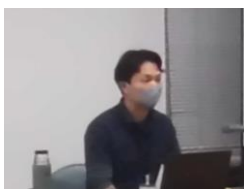
しばしば 雌雄状の木くず（多量に出ることは少ない）

円形の脱出孔



豊橋みどりの協会所属の河邊氏より豊橋市の樹木の診断方法について講義がありました。木が枯れるリスクとして菌や害虫、土壌不良があるとして、木材腐朽菌や害虫となるカミキリ虫、土に空気を入れる重要性について説明していただきました。また、木が枯れているかどうかの見分け方や近年の温暖化を踏まえた樹木の選定や管理について話がありました。内容が多く、今回だけでは時間が足りなかったため、続きは次回の講座で講義をしていただきます。普段緑化活動をされている方も改めて樹木の知識を得るいい機会ではなかったでしょうか。

③ 質疑応答



本日の内容で質疑応答がありました。今後の緑化活動の参考になれば幸いです。

今回は樹木の診断管理方法について学んでいただきました。次回は引き続き河邊さんの講義に加え、愛知県東三河農林水産事務所林務課の方を講師に迎え、「里山の管理と作業の安全確保」について講義をしていただきます。